

第8回大田区文化芸術推進協議会 議事要旨

1 開会

日時 令和8年3月3日(火) 9時 30 分から 11 時まで

場所 大田区役所5階 特別会議室

委員出欠

出席(1)委員9名

(2)事務局 文化芸術推進課4名

欠席 委員3名

2 大田区文化芸術推進プランについて

12月23日に開催した第7回大田区文化芸術推進協議会で議論した点について、修正結果を事務局から報告。意見交換の内容は以下のとおり。

発言内容	発言者
前回と比較すると推進体制のイラストがよくなった。	副会長、D 委員、G 委員、 K 委員、L 委員
推進体制のイラストについて、未来につながる広がり表現されておりよくなった印象を受ける。	E 委員
読み手に想像の余地があるイラストになっているのがよい。また、推進体制のリード文に「文化権」というワードが入ったことが画期的だ。次回以降でよいが、領域を横断した政策を進めるのであれば、庁内の他部門との連携をどう進めていくのかも「担い手」の説明に書かれているとよいのではないか。	C 委員
文化振興協会の役割に記載のある「区の事業への協力」について、今も取り組んでいるので削除してもいいのではないか。	G 委員
推進体制のリード文に「文化権」というワードが入り、区長あいさつともリンクしていてよい。(大田区は、文化芸術を創造し享受することを)人権として尊重していることが明記されている。今後庁内での連携をどう推進していくか。	副会長
G 委員の意見について、残したままでいいと思う。誰が運営するかによってやるのが左右されてしまう恐れがある。	会長

3 現行プランの評価について

事務局から説明、意見交換(資料は別紙「大田区文化振興プランの成果概要」のとおり)。

発言内容	発言者
<p>(ホール機能を持つ文化施設の利用者数や文化振興協会の主催事業といった)文化芸術事業はコロナで落ち込んだが、回復基調にある。こうした動向を区が公表することはありがたい。</p>	E 委員
<p>(文化振興協会の主催事業や大田区文化祭の)来場者数について、コロナ前と比較すると増えている。</p>	D 委員
<p>現行プランの評価をまとめて公開することはいいことである。その上で、評価として公表するのであれば、「なぜ」という分析や「何がどう変化したのか」まで記載できるとよい。例えば基本目標2について、どのような成果があったのか。</p> <p>また、定量・定性という表現について、地域の多様な文化の発信としての文化芸術情報紙の発行累計●万部は、定性ではなく定量的評価である。福祉分野とアーティストの連携事例も●回実施したというのも定量的評価となる。定性的評価であれば、「今まで連携したことのない福祉分野と協働して●●という成果があった。」という書きぶりとなる。</p> <p>定量的評価は単年度の数字単体で見るのではなく、例えば人口動態の変化に照らし合わせて意味を考えないとわからないこともある。</p> <p>また、今回は(大田区文化に関する意識調査を行った)平成29年度と令和6年度の比較が主であるが、これ以前の年度の数字も含めた経年動向を探る必要がある。</p>	C 委員
<p>大田区政に関する世論調査の「区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足層」について、3割という数字が多いのか少ないのかわからない。</p> <p>(事務局注釈:文化庁が実施している文化に関する世論調査(令和6年度調査)によると、住んでいる地域での文化的な鑑賞に満足していると回答した人の割合は3割程度となっている。)</p> <p>コロナ前後でイベントを見に来るお客さんの熱量が変わった。</p> <p>官・民・学がうまくタイアップしながらやっていると、この新しいプランも動き出していくのではないか。</p>	L 委員
<p>計画期間全体の評価がないと感じる。計画を策定した当初はコロナを想定していなかったが、コロナを受けてどう変わったか。新しい計画の区長あいさつにはコロナ禍について書いてあるので、この評価にも記載してもいいのではないか。</p>	H 委員
<p>定量的評価と定性的評価は対ではないか。定性的評価をもう少し充</p>	G 委員

実させて分析した方がいい。	
同じ対象に対して違う見方をすることで、定量的評価と定性的評価の両面から評価することができる。 福祉分野とアーティストの連携事例を例にとると、実施回数は定量的評価となるが、参加者の気持ちの変化(自己実現が高まった。自己肯定感があった。)は定性的評価となる。 区がこのような評価を公表することで、区民の意識の変化につながる可能性がある。	副会長
協議会資料として公開するときに、もう少し補足が必要だと思う。	会長
委員の皆様から頂いたご意見を反映しながら、資料を修正する。	事務局
資料の中にコロナ禍の振り返りを入れた方がいい。また、民間が行っている事業が盛り上がることで区の文化が豊かになるのではないか。団体の活動を知ってもらうことが大事。	会長
現在のプランの全体評価は、どのくらいのボリューム(文字数)で書くのがベストか。	C 委員
200 字程度でまとめるのがいいのではないか。	会長
200 字のなかに大田区らしさがあるといい。	C 委員
国が策定している「文化芸術推進基本計画」の第1期計画が同じような期間で評価している。コロナだったからできたこと・できなかったことを今回の評価で書けるといい。	副会長
コロナ禍を経て、オンライン配信だけではわからない価値があることに気づいたのではないか。今ある材料の中で評価をまとめるとよい。区が評価を公表するのはいいこと。	会長

4 その他

5 事務局からの連絡事項

特になし